特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第549号] 令和4年 11月 20日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江2-4-16 □電話 048-931-3844

蒲生船着場/17名3袋扇風機回収

11月19日（土）定例活動に、木村、古田、田中親子、田中志、間宮、井坂、宇留野、木下、林夫妻、大原、石田、坂田、吉良、相原の17名が参加し、蒲生船着場間2.1kmで3袋分の浮遊ゴミと扇風機と大量の枯れ木を回収しました。浮遊ゴミの多くはペットボトルで、中に尿が入っている物もありました。足立パドラーズの林さんの奥様は今回が初の参加で、ご夫婦でタンデム艇に乗ってゴミ拾いをしてくれました。今後はご夫婦で河川美化活動に携わっていくおつもりだそうです。

普段は見えないゴミを発見

活動時間が干潮の時間と重なり、水位が下がったため、普段は水中に隠れていて発見することができないゴミをたくさん発見・回収することができました。写真の扇風機は、かさね橋上流で大原氏が回収したもので、付近には、ハンドルのみがヘドロの中から出ている自転車もあったそうです。自転車は非常にほとんどが埋まっていて重く、本日の回収は難しかったため、目印をつけ、後日回収することにしました。

松尾芭蕉杯に向けて選手は最終調整

通常活動終了後、松尾芭蕉杯に出場予定の田中志門選手が自主練習を行いました。本番と同じ1kmの計測は、昨年大会よりもコンディションが悪い水面でしたが、ベストタイムを大きく上回るタイムで漕ぐことができました。日々の練習の成果ですね。

風間船着場/17名3袋・切り株

11月20日（日）定例活動に、木村、石田雅、大久保夫妻、相原親子、古田、松永、磯部親子、間宮、石田健、黒田、遠藤、田中志、田中瑛、遠藤の17名が参加し、**風間船着場間1.1㎞で3袋分の浮遊ゴミと切り株と大量の枯れ木を回収**しました。昨日同様、干潮の時間帯での活動で、ゴミの多くが上流から流れてきたものでした。
曇天で非常に寒い中での活動でしたが、寒さに負けずに怪我なく無事に活動を行うことができました。

新会員の石田さんシーカヤックに挑戦！

最近入会した松戸市在住の石田健樹さんは、普段は自艇のシットオンカヌーにお乗りですが、今回初めてシーカヤックに挑戦しました。石田さんは、パドラーズ入会前から趣味としてカヌーに乗っていたので、初挑戦のシーカヤックも問題なく乗りこなしていました。来週の松尾芭蕉杯では、救助班メンバーとして活動して頂く予定です。

松尾芭蕉杯/最終会議

定例活動終了後、カヌー艇庫に松尾芭蕉杯カヌー大会の役員が集まり、大会に向けた最終会議を行いました。村田競技運営委員長から、大会要項の変更点や今後の動きについての報告を受けた後に、各班の班長・副班長から当日の活動内容の詳細と、現在の準備の進捗状況についての報告をしてもらいました。
どの班も順調に準備が進んでおり、残り1週間で大会に向けた最終調整を行っていきます。
（A）

【第3回松尾芭蕉杯 参加予定の艇数】①小中学生部門（10艇）②スプリント部門（16艇）③タンデム部門（９艇）④スラローム部門（１４艇）　計４９艇